

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年9月号



9月の校長講話より =PTA作業・音楽会の看板づくり・ジャンボカボチャ=

先週の土曜日、PTA作業がありました。朝早くから参加して下さったおうちの方々が、いろいろな場所でたくさん伸びていた草を刈って下さったり、校庭のフェンスいっぱい伸びていたつるを取り除いて下さったりしました。そのおかげで、グラウンドが広くなり、遊具や大土手など、活動しやすくなりました。児童のみなさんの中にも、道具の準備を前日に手伝ってくれた人や、当日の朝早くから、一緒になって働いてくれた人がいました。おかげで、みんな気持ちよく生活ができます。本当にありがとうございました。



さて、あと一ヶ月半くらいで音楽会となります。毎日ステキな音が校舎内に響いていて、楽しい気持ちになります。今年の音楽会は、和小学校をはなれて、東御市文化会館サンテラスホールで行います。有名な演奏家が時々訪れて演奏するととてもステキなホールです。そのホールを使わせていただくので、ステージの上に、「おんがくかい」という看板が必要になりました。この看板を、ぜひ、みなさんと一緒につくりたいと思っています。

おんがくかい

でも、「どのようにかくの?」と思いますよね。今回は、にじみという方法で描きたいと思います。画用紙にきりふきで水をかけた上に、指や筆で色をつけてにじませていきます。順番に交代しながら、みんなで協力して、自分のクラスのスペースを完成させてください。

みなさんが、今一生懸命練習してくれているように、一人一人の声や音が響き合うと、ステキな歌や合奏になります。それと同じように、「おんがくかい」の看板も、一人一人の描いた色が響き合う、ステキなものになるよう、みなさんの力を貸してください。よろしくお願いします。

最後に、昇降口に飾ってあるジャンボカボチャのことについてお話しします。このカボチャは、「曾根ジャンボカボチャ愛好会」のみなさんからいただきました。一番の大きなカボチャは何キロくらいあるのでしょうか。どうやって育てたら、こんなに大きくなるのでしょうか。オレンジ色と黄緑色になっているところは、何がちがって色が変わったのでしょうか。じっくり見ると、たくさんの不思議がわいてきますね。

大切に育てたカボチャを、和小学校の子どもたちのためにと届けて下さった愛好会のみなさんに感謝しながら、楽しませていただきましょう。

これで、私の話を終わりにします。



自分の歯の健康を守ろう～学校保健委員会(オンライン)～



児童館・クラブのみなさんは視聴覚室で参加しました。感染防止のため、RDテストは家でやってくれるよう話しました。

春の歯科検診の結果から「和小的児童の歯の健康状態がもう一歩！」ということがわかりました。そこで今年度は「歯の健康」をテーマに、養護教諭が和小的児童の歯の状態についてデータを紹介したり、むし歯や歯肉炎がなぜ起こるかを手作り紙芝居で紹介したり、予防するために大切なことを説明したりしました。今回は、できるだけたくさんのおともたちや保護者の皆様に参加してもらいたいと思い、オンラインで各家庭から参加できる形にしました。むし歯がある児童や歯肉炎になってしまっている児童の割合が長野県の平均に比べて和小的学校はかなり高いことを知り、驚いた児童や保護者の方が多かった

ようですが、会の中で行ったRDテスト(口の中のむし歯菌の数が分かるテスト)の結果に衝撃を受け、会の後にすぐに歯をみがいたおともたちもいたようです。以下に感想を紹介します。

- ◇なかなか仕上げみがきやチェックができていないので、忙しい中でも時間をつくって見てあげる日を増やしたいと思います。
- ◇和小的児童のむし歯・歯肉炎の割合の高さに驚きました。ミュートのお話は分かりやすく、おともも真剣に見ていました。歯並びが悪く、歯ブラシが十分に当たっていないと思うので、仕上げみがきをしっかりとしたいと思います。
- ◇子どもの歯肉炎の多さに衝撃を受けました。親の協力もまだ必要な年齢なのだと改めて考えさせられました。歯の大切さが分からない年齢なので、どのように理解させていけば良いのか…。大人になってから後悔してほしくないで、歯の大切さを理解して、歯みがきの大切さにも気づいてほしいです。

歯を守る大切なポイントとして挙げられた「食べたらずぐ歯みがき」は実行できそうですが、「仕上げみがきをしてもらう」については思春期を迎える高学年の児童にはなかなか難しいことだと感じました。みがき残しのチェックをする、同じ時間に一緒に丁寧に歯みがきをするなど、各家庭でおともたちのためにできることを見つけていただくと良いと思います。途中、タブレットの挙手ボタンを押してしまう児童がいたり「カメラオフ」「マイクはミュート」でない児童が多く画像が止まってしまうというトラブルがあり、すみませんでした。オンライン学習の難しさも知ることができたので、学校でも引き続き指導をしていきます。都合をつけて参加して下さった保護者の皆様ありがとうございました。

1ヵ月先どいでハロウィン気分！～ジャンボかぼちゃで制作～



曾根のジャンボカボチャ愛好会の皆様から今年もハロウィン用に届けていただきました。帰りに昇降口前にある大きなカボチャを見つけたおともたちは今年も「ワアッ、大きいなあ！何kgあるの?」「先生、乗っても大丈夫?」「先生食べられるの?」と大はしゃぎです。実際に触ってみて「お肌つるつる!」なんて触感を楽しむおともも見られました。ちょうどカボチャをいただいた上旬は残暑厳しい日が続いたためか、カボチャが柔らかくなるのが早かったので、6年生が大急ぎで「ジャックオーランタンの制作」に取り組んでくれました。今年も個性溢れる作品が玄関前を華やかな雰囲気彩ってくれました。



6人の個性的な仲間が加わり、少しの間だけ和小的児童数が「321人」になります！嬉しいですね！！

大切な命を自分で守れるように～秋の交通安全教室～

13日に交通安全指導員さん4名に来校していただき「秋の交通安全教室」が行われました。1・2年生には「死角」と「内輪差」等について教えていただきました。本物のワゴン車と人形を使って児童の目の前で実験をしていただいたので、後輪が前輪に比べてはるかに内側を通ることがとてもよくわかり、子どもたちからは「こわい！」という声が上がりました。普段横断待ちをする自分にも同じような危険が及ぶ可能性があることを実感できたようでした。



3～6年生には、自転車に乗った状態での安全確認の仕方を中心に指導していただきました。停止線のある場所から見える範囲の安全確認をただけでは、信号待ちをしている自動車の右側を走ってくる車にはねられる可能性があることを指導員の方々が実演してくださいました。自転車に衝突する寸前で急ブレーキをかけてワゴン車が止まる間一髪の状態に、子どもたちは息を飲んでいました。3～6年生には、自転車の運転手として「加害者となる危険もあり得ること」についても話していただきました。大川の消防庫前の横断歩道をはじめ、車通りが多い場所を横断して登下校している児童は多いです。また、和小的子どもたちの多くは中学校進学後、自転車通学をします。今回学んだことを肝に銘じて、教えていただいた「止まる」「見る」「待つ」を実践し、大切な命を守ってほしいです。

まだまだ「あつい」和小～音楽発表会に向けて～

先生：「久しぶりにピアノの伴奏で歌ってみてどうだった？」

子どもたち：「うーん、あんまり声が出ない・・・。」

先生：「そうだよね。だって、ずっと歌えなかったんだから、仕方ないよね。」

子どもたち：「でも、歌うのってやっぱり楽しい！先生、もう一回歌おうよ！」



正しい鍵盤の指使いを覚えよう！～1年生～



みんなと一緒にコカリ十練習～4年生～

職員室に音楽室から子どもたちの歌声が聴こえてくるようになりました。先日は、家庭科室前から視聴覚室前までの廊下を使って、距離をとって1人で歌う練習をしている学年もありました。数年前まではこの時期当たり前だった光景がとても新鮮に感じられ、何だか今からワクワクします。

「今年度は何とかして音楽会を実施したい!」という思いで、十分に間隔をとって発表できるサンテラスホールをお借りして「音楽発表会」という形で3年ぶりの音楽会を開催することにしました。12日(朝7:45分頃、玄関前で登校してくる子どもたちの検温と消毒をしていると、始業前から教室でリコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする子どもたちの音が聞こえてきます。休み時間も体育館や校庭に行かず、教室や音楽室で楽器の練習に取り組む子どもたちの姿が見られます。暑い暑い夏がやっと終わり、吹く風に秋の涼しさを感じられてきましたが、和小はもうすでに音楽発表会に向けた子どもたちの熱気に包まれています。

えーっ!ここでやるの!!~子どもも先生も緊張~



14日の講話の中で学校長がサンテラスホールのステージの様子を写真で紹介しました。すると、音楽会に向けてやる気満々の子どもたちが一瞬固まりました。そして…「えー、ここで発表するの!」という声。かなり動揺していました。それもそのはず。このような大きなホールのステージで発表するのはほとんどの子が初めてでしょう。今年度は「なんとでも音楽会を開催する」ということでサンテラスホールでの開催に踏み切りましたが、実際にその舞台に立つのは音楽発表会当日が初めてになります。お家の方々の目の前で、子どもたちと

立ち位置を確認したり、音出しを試してみたりしながら、少しでも緊張がほぐれるようにゆっくり会を進めていきたいと思っています。大舞台での発表を楽しめる子もいれば、初めての経験に戸惑ったり、緊張のため顔がこわばったりする子もいることでしょう。「音楽発表会」という名前はついていますが、保護者の皆様には、心の中で子どもたちをたくさん応援しながら、当日に向けて努力する我が子の姿を思い出したり、想像したりしながら、「子どもたちと一緒に音楽を楽しもう!」という気持ちで聴いていただくとありがたいです。また、昨年度感染防止対策のためなかなか鍵盤ハーモニカやリコーダー練習ができなかったため、一曲演奏できるようにするにはとても大変でしょう。是非、お家での励ましやアドバイスをお願いします。



休み時間に音楽室で練習

私たち職員も、3年ぶりの開催が楽しみな反面、初めての舞台への不安があります。スムーズに進行できない場面が出てくると思います。ピアノ伴奏を担当する職員は「初めてのホール、初めて触れるピアノで無事に伴奏ができるかな…」とプレッシャーを感じています。「子どもたちと一緒にドキドキ、ワクワクを楽しもう!」と自分に言い聞かせ、子どもたちと心一つにして、頑張りたいと思っています。

今回の音楽発表会には、コロナ禍前まで継続的に全学年と音楽交流を行ってきた地域の合唱団「ムーミン」の皆さんにも参加していただきます。今回は、低学年の部で子どもたちと一緒に楽しめる参加型のステージをご準備いただいています。ステージと客席が一体となって楽しむ音楽のひとつ、保護者の皆様もぜひ一緒にお楽しみください。

《ご報告》8月20日に行った資源回収で集まったアルミ缶を引き取っていただき、41,580円の収入を得ることができました。このお金はPTA会計に入れ、今後、大切に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

今日から友だちだよ！～3・4・5年大ちゃんとの交流会～



バンクーバーパラリンピック「アイススレッジホッケー」銀メダリストの上原大祐さんに再び来校していただき、3・4・5年生との交流会に参加していただきました。会の始めは、3年生の代表の皆さんが、事前に上原さんのプレーを映像で観たり、上原さんについて学習したりして感じたことを素直に語ってくれました。どの子も「上原さんは本当にすごいと思う！」「上原さんにとっても会いたかったです！」「銀メダルをさわらせてもらって、すごーく感動しました！」「上原さんのことを大ちゃんと呼んで

もいいですか？」とキラキラした瞳で上原さんを見つめながら語っていました。「こんなにたくさんの子から一度に告白されたのは初めてだから、多分みんなが銀メダルを観たときと同じくらい今感動してます！」と言ってもらいました。「今日は交流会だから、みんなと友だちになるために来たんだよ。今日からは、上原さんでも、上原選手でも、上原先生でもなく『大ちゃん』って呼んでね。」という言葉にみんな大喜び。その後も、大ちゃんの話体を全体で受けとめているかのような集中力でした。「失敗することも成功することもある。でも、失敗も成功も『挑戦した人』にしか味わえない。失敗を笑う人は、失敗した人よりずっと恥ずかしい。」という言葉には、小さく頷く子がたくさん見られました。「夢をかなえるには仲間が必要。その仲間をつくるためには、自分のやりたいことを恥ずかしがらずに伝えることが大切」とも話してくれました。

次の予定があるのに、時間の許す限り子どもたちと握手をしたり、ハイタッチをしたりしてくれました。帰り際、雨脚が強くなってきました。「雨も降ってきたし、急がないと。」と車のドアを開けた大ちゃんは、車のシートに手をかけ、サッと運転席に飛び移ると、片手で車いすを軽々と持ち上げ、後部シートの上に置き、笑顔で手を振りながら颯爽と車を走らせていきました。その素早さと力強さに「さすが一流のアスリートだな。」と感心しました。子どもたちも私たちもたくさんさんの勇気をもらいました。また会える日を楽しみに待ちたいと思います。



たくさんさんの巨峰をいただきました！～東上田多面的機能保存会の皆様より～



東上田多面的機能保存会の方々に教えていただきながら房切りや摘粒のお手伝いをさせていただいた巨峰が立派に成長し、16日に6年生が収穫体験をしました。大事なぶどうの房の下に手を添え、茎を長めに残して切り落とした瞬間、想像以上の重みを感じた子どもたちは「オーっと。」声を出し、友だちと顔を見合わせていました。10分ほどで収穫を終えると、保存会の皆さんがぶどうを学校まで運んで、プレゼントしてくださいました。その後、小体育館で6年生が各学級の数ごとにかごに入れ、全てのクラスに届けてくれました。白い袋の口を開け、中を覗いた1年生は、紫色に輝く実を目にすると「わーっ！」目を見開いて大喜びでした。ちょっと持ち帰る荷物が多い金曜日、運動着や水筒が机の上や玄関のすのこ板の上に。「これだれのー？」と職員が声をかける場面が見られましたが、大事な巨峰の入ったビニール袋の忘れ物は1つもありませんでした。「お家のみんなと食べるの！」と両手に大事そうに抱えて帰る子どもたちの姿も見られました。私たちの知らないところで多くの作業をしていただいた上にたくさんさんの巨峰をプレゼントくださった保存会の皆様、本当にありがとうございました！！

PTA作業ありがとうございました！

10日に秋のPTA作業が行われました。今回は、密になるのを避けるため、池清掃担当の皆さんには校庭の草とりに回っていただきました。今年はトラックの内側までたくさん草が生えてきてしまっていたので、多くの保護者の皆様のお力を借りて作業ができ、本当に助かりました。フェンスをビッシリと覆っていたつるも切っていただき、校庭全体がとても明るくなったような気がしました。



月曜日には早速、グラウンドでサッカーボールを元気に追いかける子どもたちの姿が見られました。きれいになったグラウンドを走り回るその表情はいつも以上に笑顔で溢れていました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業時間を1時間にし、校庭全体に広がって会を行ったり、地区ごとに出欠確認をしたりと、今までにない形でしたが、支部長の皆様がリーダーシップを発揮し、手際よく動いてくださったのでとてもスムーズに作業が進みました。6年生をはじめ、お手伝いに来てくれた児童のみなさんも本当にありがとうございました。



10月の予定

- 3日(月) 東御の日 安全点検日
- 4日(火) 尿検査
- 5日(水) 尿検査(予備日) 学校集金口座振替日
- 6日(木) 3年集荷場見学
- 7日(金) 1年遠足 3年永井農場見学
グループ・チャルスキルトレーニング 児童会⑦
- 8日(土) 9日(日) 火のArt Festival 天空の芸術祭
- 10日(月) スポーツの日
- 11日(火) 月曜日課
- 12日(水) 音楽発表会特別時間割(～25)
- 13日(木) 1年生遠足予備日 児童会⑦
- 14日(金) 3年生ツルヤ・消防署見学
東御市教育講演会のため5時間授業
- 15日(土) 管楽器交歓演奏会(サトミューゼ)
- 18日(火) スクールカウンセラー来校日
- 24日(月) 6年地層学習
- 25日(火) 音楽会前日準備
- 26日(水) 音楽発表会(サンテラスホール)
市就学前健診①
- 27日(木) 児童会⑧ 市就学前健診②
2年玉ねぎ植え、大豆収穫
- 28日(金) 和保育園との交流 市内図習展(～1/13)

梅野記念絵画館よりお借りしている、はらぺこめがねさんの作品を使って、様々な学級で、校長が「対話型鑑賞」の授業を行いました。どの学級でも、具体的なモチーフや表現からの気づきを出し合いながら、自然と、描かれていない人物についての話へと発展していった子どもたちの追求力には、驚かされました。

「自分一人では気づけなかったことが、みんなと一緒に気づけてとても楽しかった」という感想がどの授業からもあがるように、これから

らも和小は、「主体的・対話的で深い学び」を大切にしていきます。

文責・作成：校長 教頭

